

平成 22 年 2 月 19 日

各位

会社名 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
 代表者氏名 代表取締役社長 小澤 洋介
 (コード番号：7774 NEO)
 本店所在地 愛知県蒲郡市三谷北通6丁目209番地の1
 問合せ先 取締役経営管理部長 大林 正人
 電話番号 0533-66-2020 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 1 月 29 日付当社「平成 22 年 3 月期第 3 四半期決算短信（非連結）」にて発表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期 業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

売上高は計画に対して 94 百万円の下方修正、当期純損失は 40 百万円の上方修正をします。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	309	△1,107	△1,139	△1,142
今回発表予想 (B)	214	△1,069	△1,098	△1,102
増減額 (B-A)	△94	37	40	40
増減比率 (%)	△30.6%	—	—	—

2. ご参考：前期の実績（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	114	△1,102	△1,113	△1,133

3. 修正の理由

平成 22 年 3 月期の売上高予想の内訳は、次のとおりです。

(単位：百万円)

事業セグメント	内訳	修正前売上高	修正後売上高
再生医療製品事業	自家培養表皮ジェイス	200	115
	自家培養角膜上皮 (受託)	63	60
研究開発支援事業	ラボサイトシリーズ	46	39
	合計	309	214

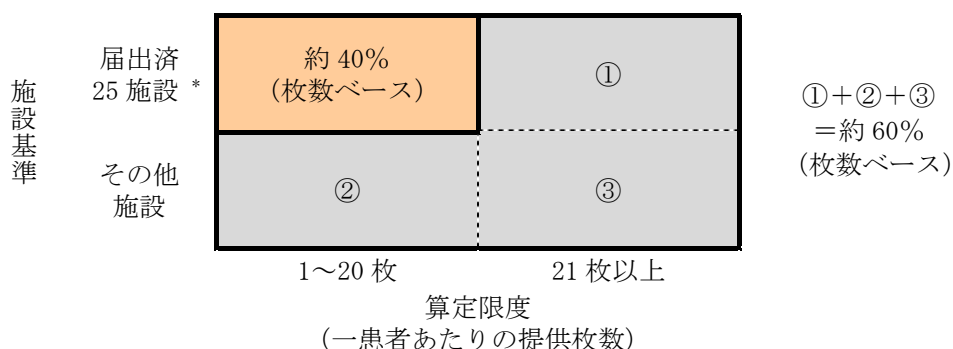
自家培養表皮ジェイスの売上高目標を 200 百万円から 115 百万円に修正する理由として、以下 2 点を挙げます。

《理由 1》 保険償還基準を満たさない出荷が多い

ジェイスは、保険償還基準として保険適用に関する留意事項で課せられた施設基準（広範囲熱傷特定集中治療室管理料の施設基準の届出を行っている保険医療機関において実施すること）と算定限度（一連につき 20 枚を限度として算定する）を満たす場合のみ売上計上可能です。当社は保険償還基準に合致する注文を獲得するよう営業活動を展開しておりますが、依然として保険償還基準を満たさない条件でのジェイス出荷（人道的観点から当社負担による出荷）が多くを占めております。

平成 21 年 4 月から平成 22 年 1 月の期間におきましては、出荷枚数ベースで有償：無償＝約 40%：約 60%となりました。

ジェイス出荷実績（平成 21 年 4 月～平成 22 年 1 月）



* : 平成 22 年 2 月 1 日現在、当社調べによる。

《理由 2》 冬季に入り出荷前にお亡くなりになった患者様が多い

当社が予想していたとおり冬季に多くの熱傷患者様が発生し、第 3 四半期以降に医療機関から多くのジェイスの注文をいただいております。一方で、ジェイスの生産には約 3 週間の培養期間が必要です。平成 21 年 12 月から平成 22 年 1 月の実績として、ジェイスの注文をいただいた症例の内、半数以上の患者様がジェイス培養中あるいは出荷前にお亡くなりになりました。

我が国においては患者様に製品が適用された時点で診療報酬が発生するため、このような製品出荷前の患者死亡事例は、保険償還の対象となりません。従いまして、ジェイスを生産したものの当社は売上請求をできない事例が多く発生しています。

自家培養角膜上皮は、株式会社ニデックからの開発委託を受け、イタリアの角膜バンクであるベネトアイバンクから技術を導入し開発を進めています。確認申請の審査過程で医薬品医療機器総合機構から発せられた照会事項への対応を進めていますが、想定以上に時間を要しています。開発の遅れにより、当社からニデックへの費用請求が減少する見込みです。

ラボサイトシリーズは販売開始以降順調に売上を伸ばしてきましたが、昨今の景気低迷を受け、ユーザー企業がラボサイトを使用する量や頻度が減少傾向にあります。また、JaCVAM（日本動物実験代替法検証センター）によるラボサイトを使用した皮膚刺激性試験の標準化判定が少々遅れている模様で、今期の売り上げへのプラス効果が見込めません。これらを考慮し、計画を 1 割強修正します。

以上より、売上高は計画に対して合計 94 百万円減少します。なお、経費削減等に努めることにより、当期純損失は 40 百万円改善いたします。

（業績予想に関する注意事項）

上記に記載しました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化などにより上記予想数値と異なる場合があります。

以上